

【九月の言葉（令和六年）】

良い結果は、

自分だけで得たものではない。

「よきところのおこるも、宿善のもよほすゆゑなり。」（歎異抄）

私たちは良いことが起これば、有頂天になって喜びます。悪いことがあれば落ち込み、どうしようもない怒りを他人にぶつけてしまうこともあるでしょう。しかし、仏教においては、良いことも悪いこともすべて過去からの積み重ねられた業（宿業）によるものとされています。「良い心が起こるのも、過去から蓄積された善の働きによるものである」という言葉にあるように、私たちは、この世で宿業を引き受けながら生きていくにすぎないのです。

ですから、良い結果にも「自分の努力によるものごうまんだ」と傲慢になつてはいけません。また、つらい出

来事で自分を責める必要もありません。起きていることを、ただありのままに見つめれば、善悪を超えた気づきを得ることもあるでしょう。